

# 指定管理者制度導入施設 年度評価シート

評価年度

令和4年度

## 1 基本情報

公の施設名	相模原市立あじさい会館(南分室・緑分室含む)
指定管理者名	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで
施設設置条例	相模原市立市民福社会館条例
施設の設置目的	社会福祉の総合的な推進及び社会福祉活動の育成発展を図り、もって市民福祉の増進に資するため
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>●あじさい会館(中央区富士見6-1-20) ホール、講習室、大和室、第1和室、第2和室、第3和室、ボランティア活動室、談話室 第1展示室、第2展示室</li> <li>●あじさい会館南分室(南区相模大野6-22-1 南保健福祉センター内) 高齢者交流室、談話室、情報交換ルーム、ボランティア活動室</li> <li>●あじさい会館緑分室(緑区西橋本5-3-21 緑区合同庁舎内) 高齢者交流室、談話室、情報交換ルーム、ボランティア活動室</li> </ul>
施設所管課	健康福祉局 地域包括ケア推進部 高齢・障害者福祉課

## 2 管理実績

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計(人) (あじさい会館)	151,654	147,195	128,499	44,101	63,048	88,326	
貸館率(%) (あじさい会館)	49.4	47.4	49.4	41.5	33.6	37.6	
利用者数合計(人) (あじさい会館南分室)	20,220	20,806	17,280	6,729	11,376	14,925	
貸館率(%) (あじさい会館南分室)	45.5	48.2	44.1	38.6	38.7	40.9	
利用者数合計(人) (あじさい会館緑分室)	13,725	16,617	15,301	5,261	8,154	10,835	
貸館率(%) (あじさい会館緑分室)	34.7	39.6	42.5	31.1	32.7	37.5	
利用料金合計(円)	13,914,166	15,166,119	12,410,750	4,977,584	8,119,147	13,419,339	

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のために施設の利用を休止した期間

令和2年度：令和2年4月1日～7月9日、令和3年1月13日～3月21日 計168日間

令和3年度：令和3年8月6日～9月30日 計56日間

### 3 成果指標の達成度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果指標の達成度は97.9%となり、評価基準により「B」評価とする。</li> <li>・令和4年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響が残る中で、感染症発生前と同水準の利用実績となったことを評価する。令和5年5月から新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、利用制限も無くなったことから、さらなる利用促進が図られるよう、多方面へのPRに努められたい。</li> </ul>

指標	
指標名（単位）	福祉団体の利用回数(単位:回)(南分室及び緑分室を除く)
指標式と指標の説明	福祉利用施設の利用回数+福祉団体の一般利用施設の利用回数 あじさい会館を拠点とした福祉活動の推進利用状況を評価するための指標

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（回）	2,140	2,150	2,310	2,320	2,330	2,340	2,350
実績値（回）	2,324	2,100	2,223	※ 2,142	※ 2,079	2,292	
達成度（%）	108.6%	97.7%	96.2%	92.3%	89.2%	97.9%	

※令和2年度・令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休館に伴う補正後の数値

### 4 事業の実施状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・達成度が100%となることから、評価基準により「A」評価とする。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年度は計画していた事業の多くが実施できなかったが、世界アルツハイマーデー啓発事業として映画会やパネル展を開催するなど、実施した事業の内容を評価する。</li> <li>・令和5年度は、福祉に関する講座やイベント、ファミリーコンサートの開催などを計画どおり実施し、市社会福祉協議会が指定管理者である強みを活かしながら、市民の福祉理解の促進や、多世代の市民の交流の場づくりに努めていただきたい。</li> </ul>

#### 市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
なし			

#### 企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
なし			

#### 自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
世界アルツハイマーデー啓発事業	9月	認知症地域支援・ケア向上ネットワーク会議(市在宅医療・介護連携支援センター所管)が実施する世界アルツハイマーデー啓発事業「助けられ王国さがみはら」の一環として「映画会」及び「啓発パネル展示」を実施 映画会参加者:103名	○
ロビー展示	通年	福祉団体の作品展、NPO団体等の活動紹介パネル展、ボランティア活動等啓発パネル展、介護写真展等をロビーで実施	○
「福祉活動情報掲示コーナー」の設置	通年	市内22の地区社会福祉協議会の活動紹介、市内の市民活動団体等が取り組む「子ども食堂」や「無料学習塾」等子どもの居場所づくりの活動紹介	○

## 5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者満足度調査の目標値に対する達成度が106.6%となり、評価基準により「A」評価とする。</li> <li>・毎年継続して高い水準の利用者満足度を得られていることは、日頃から利用者の目線に立った管理運営ができてきているからこそであると評価する。</li> <li>・施設の老朽化に関する自由意見も増えてきているが、さらなる利用者満足度の向上のため、地道な改善に努めるとともに、事業実施時にもアンケートを行うなど、様々な場面を通じて利用者の声を反映できるように心掛けていただきたい。</li> </ul>

### 利用者満足度調査

調査手法/サンプル数	利用者へのアンケート調査を実施 時期:令和5年1月5日～1月31日 回答者数:1,012人
目標値の基準	利用満足度の設問に対する「満足」と「やや満足」の合計の割合

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（%）	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
実績値（%）	97.0	96.3	97.4	96.8	97.3	95.9	
達成度（%）	107.8%	107.0%	108.2%	107.6%	108.1%	106.6%	

### その他の取組

取組事項	時期	取組内容
なし		

## 6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本体事業収支、全体収支とも赤字となったが、団体の経営状況に特段の課題はないことから、評価基準により「B」評価とする。</li> <li>・原油価格高騰に伴う水道光熱費の大幅増の影響(対前年度比+3,280千円)が無ければ単年度での全体収支の黒字化も見込めたことから、引き続き、経費の節減に努め、黒字化を図られたい。</li> </ul>

### 施設の収支概要

※直近3年間について記載

(千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
収入（a）	104,902	108,428	108,697
指定管理料	93,036	92,604	92,539
利用料金収入	4,978	8,119	13,419
その他の収入	6,888	7,705	2,739
支出（b）	110,581	107,365	110,194
人件費	24,207	20,308	20,472
本社管理経費	0	0	0
その他の支出	86,374	87,057	89,722
本体事業収支 【(a)-(b)】(c)	-5,679	1,063	-1,497
自主事業収入（d）	0	109	72
自主事業支出（e）	79	181	81
自主事業収支 【(d)-(e)】(f)	-79	-72	-9
全体収支 【(c)+(f)】	-5,758	991	-1,506
備考			

### 団体の財務状況

団体本体の経営状況について特段の問題はない。

## 7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施
実施時期	令和5年3月23日

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	加点事由あり(下記のとおり)
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	
有	現金管理において、1日に複数回金額確認をしており、適正かつ厳重な管理が行われていることから加点するもの。	

## 8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	○
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	○
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	○
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	なし

## 9 指定管理者の自己評価

新型コロナウイルス感染拡大予防措置の利用の制限等が解除され、施設利用及び施設管理等については以前の対応に戻る中で、引き続き基本的な感染拡大予防措置に努め、自主事業についても従前からの取組が乳幼児同伴コンサートや夏季休暇中の子ども向けワークショップ等集合的な催事が多かったため、再開する事業は一部に留めることとした。市民要望の高いトイレの温水便座化については、障がい者トイレ（3階、6階）を優先して取り組み福祉会館としての利便性の向上に努めた。引き続き多くの来館者等への担当課窓口等のレファレンスについては、受付、警備スタッフがサービス・制度情報を共有し、的確な案内に努めた。

## 10 所管課意見

- ・施設の老朽化が進行する中で、優先順位を付けて計画的に施設修繕に取り組んだことを評価する。特に空調機やトイレ周りなどの修繕は、施設利用者の利便性向上に直接寄与するものであり、実施時期を含め高く評価したい。
- ・市役所に近い立地から、会館本来の来館者だけでなく様々な市民の来館があり、市役所の案内窓口と同等の一次的な案内が求められる中で、施設スタッフが丁寧な対応を行っていることを高く評価する。日頃からの情報収集とその共有、そして市や関係機関との連携を継続し、全ての市民にやさしい施設であり続けていただきたい。
- ・利用料金収入はコロナ禍前の水準に戻りつつあるが、貸館率は依然として低い水準である。自主事業の実施を含め、さらなる施設PRを重ねて施設全体の稼働率を上げ、収入増にもつなげていただきたい。
- ・新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類に移行し、施設の利用制限も基本的に解除されている。令和5年度は5年間の指定期間の最終年度となるため、当初提案のあった事業が着実に実施できるよう努めるとともに、令和6年度に向けて様々な面で整理を進めていただきたい。

## 11 選考委員会意見

- ・老朽化が進んでいる施設であるが、利用者満足度が高いのは、指定管理者がハード面・ソフト面の両面で様々な努力をした結果であると捉えている。利用者からの要望が多いトイレの改修を行うなど、優先順位を付けつつ、利用者の意見に耳を傾ける姿勢は評価したい。一方で、利用者の拡大に向け、実際に効果が期待できるような事業を考えていく必要があると感じた。
- ・高い利用者満足度を継続していること、また、古い施設でありながらも必要な修繕に取り組んでいることを高く評価する。利用者の拡大に向けた取組は必要であり、改善すべき点であると感じた。
- ・総合評価で毎年A評価を続けていることは、指定管理者の努力の結果であり、評価したい。「施設の経営状況」の項目については、原油価格高騰による影響を受けたことで令和4年度はB評価となり、令和3年度のS評価から2段階下げているが、大きな課題は無いものと捉えてよいと思う。
- ・施設の老朽化が進む中で、不具合がある状態で指定管理者に管理運営を任せのではなく、施設の所有者として、市が責任を持って必要な設備の更新を行い、使いやすくした上で、指定管理者制度を運用するべきである。

### 総合評価（自動判定）

